

参考2 就業時間別の船員供用係数

船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (1ワッチ制)

係数 ランク	船舶 供用係数 (α)	就業時間別の船員供用係数(β)								備考
		就業8時間		就業9時間		就業10時間		就業11時間		
		[超勤時間 0h]		[超勤時間 1h]		[超勤時間 2h]		[超勤時間 3h]		
		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]		
		船団長 高級船員	普通船員	船団長 高級船員	普通船員	船団長 高級船員	普通船員	船団長 高級船員	普通船員	
1	1.65	1.20	1.20	1.31	1.31	1.42	1.42	1.53	1.54	
2	1.80	1.30	1.30	1.41	1.41	1.52	1.52	1.63	1.64	
3	2.05	1.45	1.45	1.56	1.56	1.67	1.67	1.78	1.79	
4	2.25	1.60	1.60	1.71	1.71	1.82	1.82	1.93	1.94	
5	2.45	1.70	1.70	1.81	1.81	1.92	1.92	2.03	2.04	
6	2.65	1.80	1.80	1.91	1.91	2.02	2.02	2.13	2.14	
7	2.90	1.95	1.95	2.06	2.06	2.17	2.17	2.28	2.29	
8	3.20	2.15	2.15	2.26	2.26	2.37	2.37	2.48	2.49	
9	3.70	2.40	2.40	2.51	2.51	2.62	2.62	2.73	2.75	

船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (2ワッチ制)

係数 ランク	船舶 供用係数 (α)	就業時間別の船員供用係数(β)								備考
		就業16時間		就業18時間		就業20時間		就業22時間		
		[超勤時間 0h]		[超勤時間 2h]		[超勤時間 4h]		[超勤時間 6h]		
		[深夜時間 1h]		[深夜時間 3h]		[深夜時間 4h]		[深夜時間 6h]		
		船団長 高級船員	普通船員	船団長 高級船員	普通船員	船団長 高級船員	普通船員	船団長 高級船員	普通船員	
1	1.65	1.21	1.21	1.34	1.35	1.47	1.47	1.60	1.60	
2	1.80	1.31	1.31	1.44	1.45	1.57	1.57	1.70	1.70	
3	2.05	1.46	1.46	1.59	1.60	1.72	1.72	1.85	1.85	
4	2.25	1.61	1.61	1.74	1.75	1.87	1.87	2.00	2.00	
5	2.45	1.71	1.71	1.84	1.85	1.97	1.97	2.10	2.10	
6	2.65	1.81	1.81	1.94	1.95	2.07	2.07	2.20	2.20	
7	2.90	1.96	1.96	2.09	2.10	2.22	2.22	2.35	2.35	
8	3.20	2.16	2.16	2.29	2.30	2.42	2.42	2.55	2.55	
9	3.70	2.41	2.41	2.54	2.55	2.67	2.67	2.80	2.80	

(注1) 就業時間別船員供用係数(β)の算定式

$$\beta = \beta_0 + \frac{1}{8} \times \text{割増対象賃金比} \times (1.25 \times \text{超勤時間数} + 0.25 \times \text{深夜時間数}) \div \text{ワッチ数} \quad (\text{小数3位四捨五入})$$

ここに、β：時間外手当および深夜手当を考慮した船員供用係数

β₀：就業8時間の場合の船員供用係数

割増対象賃金比：労務単価に占める割増賃金の対象となる賃金の比率をいう。

ただし、2ワッチにおける超過勤務時間数及び深夜労働時間数は、2ワッチの合計の時間数とする。

(注2) 上記船員以外にも潜水士等も対象とする。